



芦田耕一先生近影

略 歴

- 一九四六年二月六日生
- 一九六五年四月 神戸大学文学部入学
- 一九六九年三月 神戸大学文学部文学科（国語学国文学）卒業
- 一九六九年四月 神戸大学大学院文学研究科修士課程（国語学国文学専攻）入学
- 一九七二年四月 大阪府立高等学校教諭（〓七八年三月）
- 一九七三年三月 同上修了（文学修士）
- 一九七八年四月 島根大学講師（文理学部）
- 同 年六月 島根大学講師（法文学部）
- 一九八一年四月 島根大学助教授（同上）
- 一九九一年四月 島根大学教授（同上）
- 一九九七年四月 島根大学大学院人文社会科学研究所教授（専任）
- 一九九八年四月 島根大学評議員（〓二〇〇〇年三月）
- 二〇〇〇年四月 島根大学法文学部長（〓二〇〇二年三月）
- 二〇〇二年四月 島根大学評議員（〓二〇〇四年三月）
- 二〇〇五年四月 島根大学保健管理センター所長（〓二〇一一年三月）
- 二〇〇八年二月 独立行政法人大学評価・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会専門委員
（〓二〇〇九年六月）
- 二〇一一年三月 島根大学定年退職

その他、神戸大学、島根医科大学（当時）、島根県立島根女子短期大学（当時）、島根県立看護短期大学（当時）の非常勤講師、国文学研究資料館の国文学文献資料調査員を勤める。

研究業績

【著書】

- 『袋草紙考証 歌学篇』（共著）和泉書院 一九八三、一〇
『古今和歌集連環』（共著）和泉書院 一九八八、五
『袋草紙考証 雑談篇』（共著）和泉書院 一九九一、九
『歌論の展開』（共著）風間書房 一九九五、三
『重要文化財佐太神社―佐太神社の総合的研究―』（共著）鹿島町立歴史民俗資料館 一九九七、三
『古代中世文学論考』（共著）新典社 二〇〇〇、五
『王朝文学の本質と変容 韻文編』（共著）和泉書院 二〇〇一、一一
『古代中世和歌文学の研究』（共著）和泉書院 二〇〇三、二
『六条藤家清輔の研究』（単著）和泉書院 二〇〇四、二
『出雲国名所歌集―翻刻と解説―』（共著）ワン・ライン 二〇〇六、六
『出雲国の四歌集』（単著）私家版 二〇〇七、一〇
『清輔集新注』（単著）青簡社 二〇〇八、二
『類題八雲集―翻刻・解説と作者索引―』（共著）私家版 二〇〇九、一
『人物しまね文学館』（共著）山陰中央新報社 二〇一〇、五
『出雲文化圏と東アジア』（共著）勉誠出版 二〇一〇、七

【論文】

- 『多武峯少将物語』序論 「国文学研究ノート」創刊号 一九七二、一二
『多武峯少将物語』再論 「国文学研究ノート」4号 一九七四、五
『多武峯少将物語』覚書 「国文学研究ノート」6号 一九七五、一一

- 「坂上望城考」 「国文学研究ノート」 8号 一九七七、七
- 「高光出家の原因をめぐって」 「平安文学研究」 58輯 一九七七、一一
- 「高津内親王の歌をめぐって」 「平安文学研究」 61輯 一九七九、六
- 「藤原高光における横川と多武峯の位置」 「国語と国文学」 57巻6号 一九八〇、六
- 『袋草紙』 著述意図に関する一考察 「島根大学法文学部紀要」 3号 一九八〇、一二
- 「翻刻 桑原文庫所蔵『後撰集聞書』」 「山陰文化研究紀要」 21号 一九八一、三
- 「翻刻 島根大学付属図書館所蔵『後撰和歌集聞書注』(上)(下)」 「国文学研究ノート」 14、15号 一九八一、一一、一九八二、一二
- 「嵯峨天皇の菊の歌について」 「島大国文」 10号 一九八一、一二
- 『袋草紙』 における未代 「中古文学」 30号 一九八二、一二
- 『後撰和歌集』 の構成 「島大国文」 11号 一九八二、一二
- 『後撰和歌集』 の配列 「島大国文」 13号 一九八四、一〇
- 『袋草紙』 に見える大中臣家をめぐって 「島根大学法文学部紀要」 8号 一九八五、一二
- 『袋草紙』 の本文解釈をめぐって 「島大国文」 16号 一九八七、一一
- 「六条藤家頭季の婿」 「国語と国文学」 67巻9号 一九九〇、九
- 『統詞花集』 撰集のための『袋草紙』 「島大国文」 19号 一九九〇、一一
- 「島根大学付属図書館蔵『人麿御奉納百首和歌』 — 紹介と翻刻 —」 「山陰地域研究」 8号 一九九二、三
- 「藤原清輔の「公通家十首会」の参加をめぐって」 「和歌文学研究」 64号 一九九二、一一
- 「藤原清輔詠と清輔本『古今集』」 「島大国文」 21号 一九九三、三
- 「柿本神社(益田市)蔵「堂上御奉納和歌」 — 紹介と翻刻 —」 「山陰地域研究」 9号 一九九三、三
- 「藤原清輔の詠歌」 「島根大学法文学部紀要」 22号 一九九四、一二
- 「翻刻 佐太神社所蔵『神始言吹草』」 「佐太神社の総合的研究」(科研報告書) 一九九五、三
- 「藤原清輔詠歌の父祖詠の受容をめぐって」 「島根大学法文学部紀要」 24号 一九九五、一二
- 「藤原清輔の「歌枕」詠」 「島大国文」 25号 一九九七、二
- 『奥義抄』 に見られる『万葉集』歌 — その独自本文について — 「国文論叢」 25号 一九九七、三

「藤原清輔の詠歌と難義語」 「和歌文学研究」 76号 一九九八、六

「藤原清輔の反伝統的詠歌をめぐって」 「島根大学法文学部紀要言語文化学科編」 5号 一九九八、七

「藤原頭輔の最晩年の詠歌一首―息男清輔との関わりをも含めて―」 「島根大学法文学部紀要言語文化学科編」 6号 一九九八、一一

「清輔集」にみられる三条家―「ながらへば・・」詠の詠作年代に及ぶ― 「島大國文」 30号 二〇〇三、三

「藤原清輔の「南殿の桜」詠をめぐって―二条天皇とのかかわり―」 「島根大学法文学部紀要言語文化学科編」 17号 二〇〇四、八

「藤原清輔詠の『和漢朗詠集』の漢詩撰取」 「島根大学法文学部紀要言語文化学科編」 19号 二〇〇五、九

「清輔集」における第三者の加筆をめぐって」 「島根大学法文学部紀要言語文化学科編」 24号 二〇〇八、三

「出雲国名所歌集」の詠歌状況をめぐって」 「島大國文」 32号 二〇〇八、三

「類題八雲集」について」 「山陰研究」 2号 二〇〇九、一二

「森為泰の五十賀詠歌」 「山陰研究」 3号 二〇一〇、一二

【その他】
「清輔雑談集 貞享二年版本」(共編) 和泉書院 一九七八、一

「清輔雑談集 貞享二年版本 増補索引付」(共編) 和泉書院 一九七九、一一

「伊勢物語・竹取物語・宇津保物語」(鑑賞 日本の古典)の「参考文献解題(宇津保物語)」尚学図書 一九八一、一

「新編国歌大観 第三巻」の「高光集」 角川書店 一九八五、五

「別冊国文学 古典和歌必携」の二四項目 学燈社 一九八六、七

「日本伝奇伝説大事典」の二項目 角川書店 一九八六、一〇

「日本名歌集成」の八項目 学燈社 一九八八、一一

「短歌」の「古典秀歌鑑賞」 角川書店 一九八八、一二

- 『大歳時記3』の一〇項目 集英社 一九八九、一〇
『袋草紙』における熟語の倒置使用 「ぐんしよ」 一九九五、四
『袋草紙』（新日本古典文学大系）の「下巻」部の翻刻 岩波書店 一九九五、一〇
『歌ことば歌枕大辞典』の一六項目 角川書店 一九九九、五
『国会図書館蔵俊頼髓脳』（共編） 和泉書院 一九九九、一〇
『伊勢物語 「いとようけさうじて」小攷 「ぐんしよ」 二〇〇〇、七
『清輔集』の結題 「国文学」 二〇〇〇、一二
『日本国語大辞典 第二版』の多くの項目 二〇〇〇、一二～二〇〇二、一
『関西大学図書館蔵秘抄』（共編） 和泉書院 二〇〇二、一〇
『平安文学研究ハンドブック』の二項目 和泉書院 二〇〇四、五